

女生きてます 盛り場渡り鳥 (1972)

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 88分

初公開日 1972/12/09

【解説】

「喜劇 女は男のふるさとヨ」「喜劇 女生きてます」「喜劇 女売り出します」に続くシリーズ第四弾。藤原審爾の原作をベースに、森崎東と掛札昌裕が脚本を共同で執筆、森崎が監督したコメディ作品。山本直純が音楽を担当した。

金沢と妻の竜子が経営するストリッパー斡旋会社「新宿芸能社」に川上初子がやってきた。即採用となった初子だったが、翌日には金沢のヘソクリなどを持ち逃げしてしまう。初子を実家まで追いかけた金沢は、そこで近所の子供たちを世話する初子を発見。子供の母親の和枝と、元父親の善伍との争いに巻き込まれ、金沢は手を負傷してしまう。初子と和枝が働くようになった芸能社に初子の母親の富子が現れ、事態は思わぬ方向に進むのだった…。

【クレジット】

監督 森崎東

製作 上村務

原作 藤原審爾

脚本 森崎東
掛札昌裕

撮影 吉川憲一

美術 佐藤之俊

編集 杉原よし

音楽 山本直純

出演 森繁久彌
川崎あかね
中村メイ子
春川ますみ
なべおさみ
山崎努